

2022年12月6日

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

群栄化学工業株式会社

Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd.

(証券コード：4229 プライム市場)

1. 会社概要
2. 2023年3月期第2四半期 業績・財務概要
3. 2023年3月期 業績予想
4. 「GCIグループ中期経営方針2024」 進捗

1. 会社概要

2. 2023年3月期第2四半期 業績・財務概要

3. 2023年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」 進捗

社名 : 群栄化学工業株式会社 (略称 )

本社所在地 : 群馬県 高崎市 宿大類町 700

代表者 : 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎

設立 : 1946年1月23日 (創業 77年目)

上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場

資本金 : 50億円

従業員数* : 505人 (連結)

国内製造拠点 : 群馬、滋賀、岩手

国内販売拠点 : 群馬、東京、大阪

海外拠点 : タイ、インド、アメリカ、ドイツ



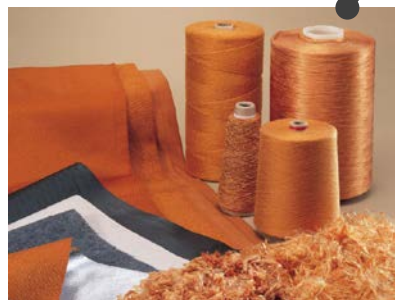
代表取締役 社長執行役員
有田 喜一郎

食品（澱粉糖、穀物糖化液 等）

- ・ 飲料、甘味
（清涼飲料、ビール系、菓子類）
- ・ 穀物ミルク原料
- ・ 化粧品原料



オーツミルクの素



高機能繊維
カイノール

不動産活用業 1%

等

食品
18%

環境材料
5%

2023年3月期
第2四半期
連結売上高
158億円

化学品
81%

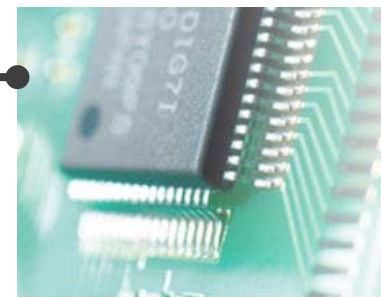
工業材料
50%

化学品（フェノール樹脂 等）

- ・ 電子材料
- ・ 工業材料
（自動車・機械・住宅・成形材料 他）
- ・ 環境材料（溶剤回収向けカイノール）

等

電子材料
26%



フォトレジスト用樹脂

内側：当社セグメント別売上高比率
外側：用途別売上高比率

**化学品と食品の事業を併せ持つ
ユニークな「素材メーカー」です。**

1. 会社概要

2. 2023年3月期第2四半期 業績・財務概要

3. 2023年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」 進捗

2023年3月期第2四半期 業績サマリー



売上高： 市況は自動車・住宅用途を除き堅調。原材料、エネルギーなどの高騰分の価格是正を進めた結果、売上高は半期業績としては**過去最高**を更新。

利 益： 地政学リスクや円安進行の影響により原材料、エネルギーなどのコストが大幅に上昇した影響で減益。

単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	前期比
売上高	14,340	15,810	+1,470	10.3%
化学品	11,768	12,875	+1,107	9.4%
食品	2,448	2,812	+364	14.9%
不動産	123	122	▲1	▲0.8%
営業利益	1,386	895	▲491	▲35.4%
化学品	1,241	905	▲336	▲27.1%
食品	64	▲81	▲145	—
不動産	79	70	▲9	▲11.4%
経常利益	1,542	1,053	▲489	▲31.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,052	742	▲310	▲29.5%
売上高営業利益率	9.7%	5.7%	▲4.0pt	—

2023年3月期第2四半期 営業利益増減要因

売上高増加 +14.7億円

化学品	+11.1億円
内 電子材料	+1.3億円
食品	+3.6億円

売上原価の増加 +19.2億円

原材料費増加	+18.2億円
光熱費増加	+2.4億円
減価償却費増加	+0.3億円

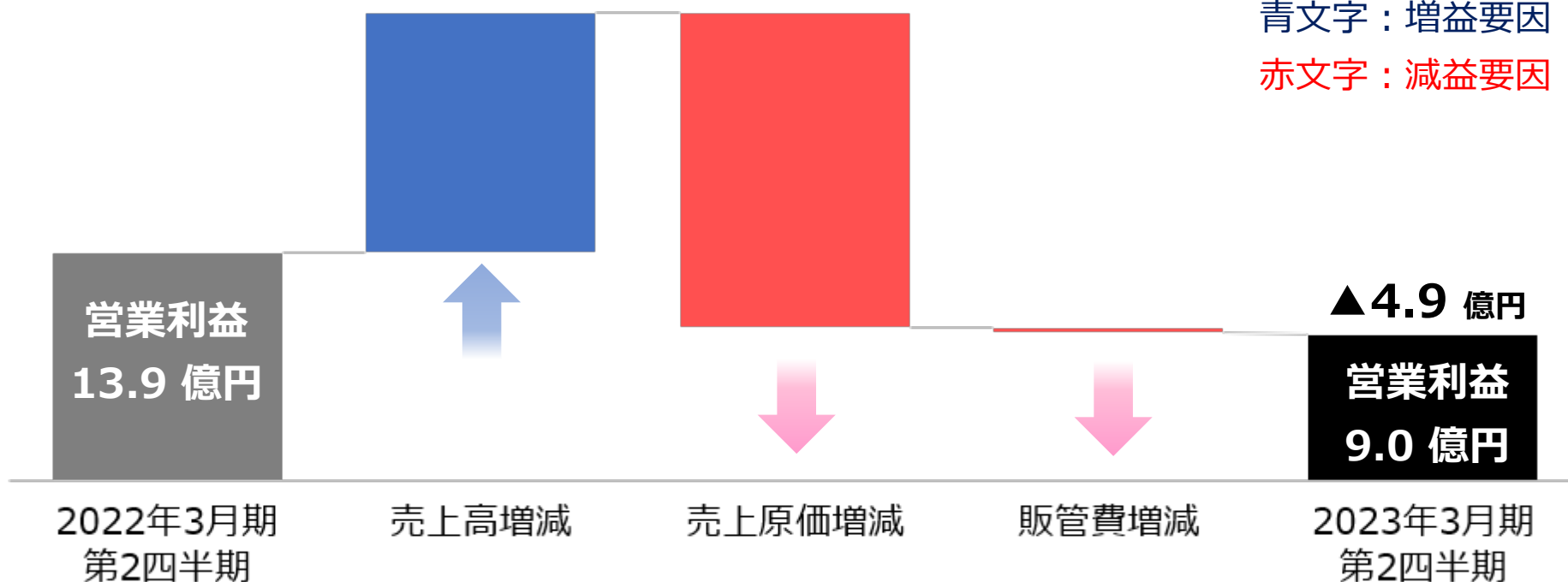
販管費の増加 +0.4億円

運送費増加	+0.3億円
旅費交通費増加	+0.1億円

他

他

青文字：増益要因
赤文字：減益要因



化学品セグメント

- 電子材料**： 2Q後半よりディスプレイ、スマートフォンなどの生産調整の影響を受けるが需要は堅調であり増収。
- 工業材料**： 建設・工作機械向けは好調、自動車向けは減産の影響を受け低調。原材料等の高騰分の価格是正により増収。
- 環境材料**： LiB関連の溶剤回収向けカイノールが増加し増収。

食品セグメント

- 飲料**： 夏期が猛暑となったことで飲料向け製品の増加、原材料価格等の高騰分の価格是正を実施した結果、増収。
- 穀物ミルク**： 「オーツミルクの素」を本格的に拡販開始、増収へ寄与したものの、期初の計画数量には届かず。

単位：百万円

売上高	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減 (%)
化学品	11,768	12,875	+1,107 (9.4%)
電子材料	4,054	4,189	+135 (3.3%)
工業材料	7,061	7,890	+829 (11.7%)
環境材料	652	795	+143 (21.9%)
食品	2,448	2,812	+364 (14.9%)
不動産	123	122	▲1 (▲0.8%)

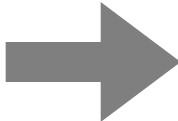
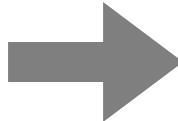
上期の需要は横ばい、前期と同等の高水準を維持。

半導体

下期メモリ向け在庫過多も見込まれるが、パワー半導体、センサーなど車載向けは堅調で全体としては横ばいの見通し。

ディスプレイ

上期2Q後半からの在庫調整の影響を受け減少。
下期も引き続き在庫調整の影響を受ける見通し。

電子材料 用途詳細	主な製品用途	2023年3月期 第2四半期 実績 (前年同期比)	2023年3月期 下期 見通し (前年同期比)
半導体	パワー半導体 センサー類 メモリ プロセッサ		
ディスプレイ	液晶TV OLED		

自動車・ 機械

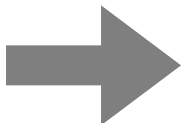
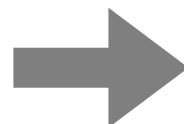
上期、機械関係は輸出向けを中心に堅調、自動車向けは半導体不足の影響は改善傾向にあるものの減産の影響を受け低調。

下期も上期同様を見込む。

住宅

上期、建材価格高騰の影響もあり需要は横ばい、昨年からの低調が続く。

下期も引き続き横ばい～減少の見込み。

工業材料 用途詳細	主な製品用途	2023年3月期 第2四半期 実績 (前年同期比)	2023年3月期 下期 見通し (前年同期比)
自動車・機械	エンジン ブレーキパッド 建設機械 工作機械		
住宅	断熱材 木材		
その他	成形材料 耐火物		

溶剤回収

上期、LiB市場拡大、設備投資増加により需要が前期からさらに拡大。

下期、引き続き需要拡大により増加の見込み。

その他

上期、航空機部品は横ばい、ロケット関連在庫調整により減少。

下期も上期同様の見通しで若干の減少を見込む。

環境材料 用途詳細	主な製品用途	2023年3月期 第2四半期 実績 (前年同期比)	2023年3月期 下期 見通し (前年同期比)
--------------	--------	---------------------------------	-------------------------------

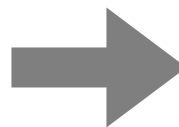
溶剤回収

溶剤回収装置



その他

航空機部品
ロケット
防護服



2023年3月期第2四半期 食品（販売数量）

異性化糖・ 水飴

上期、行動制限の緩和、夏場の猛暑により需要堅調。

下期、食料品各種値上げの影響もあり需要低下の見込み。

穀物糖化液

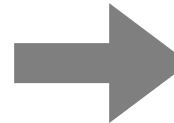
上期、アルコール飲料向けは減少も、穀物ミルク向け（オーツミルクの素）販売開始により前期比増加。

下期も上期同様の見通し。

化粧品原料

上期、行動制限緩和、外出機会増加により需要増加。

下期、需要が一服し、横ばいの見通し。

食品 用途詳細	主な製品用途	2023年3月期 第2四半期 数量 (前年同期比)	2023年3月期 下期 数量見通し (前年同期比)
異性化糖・水飴	清涼飲料 菓子		
穀物糖化液	アルコール飲料 穀物ミルク		
化粧品原料	保湿剤		

貸借対照表

単位：百万円

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期末	増減額	主な増減要因
流動資産	24,338	23,773	▲565	有価証券減少
有形固定資産	19,164	19,326	+162	機械装置増加 建設仮勘定増加
無形固定資産	259	189	▲70	のれん減少
投資その他の資産	10,917	11,418	+501	投資有価証券増加
流動負債	7,499	7,388	▲111	買掛金増加 未払法人税等減少
固定負債	2,280	1,818	▲426	退職給付負債減少
純資産	44,899	45,499	+600	利益剰余金増加
負債純資産合計	54,680	54,707	+27	

主な増減要因

営業CF：純利益減少

投資CF：有形固定資産・投資有価証券取得による支出増加

財務CF：主な増減なし

単位：百万円

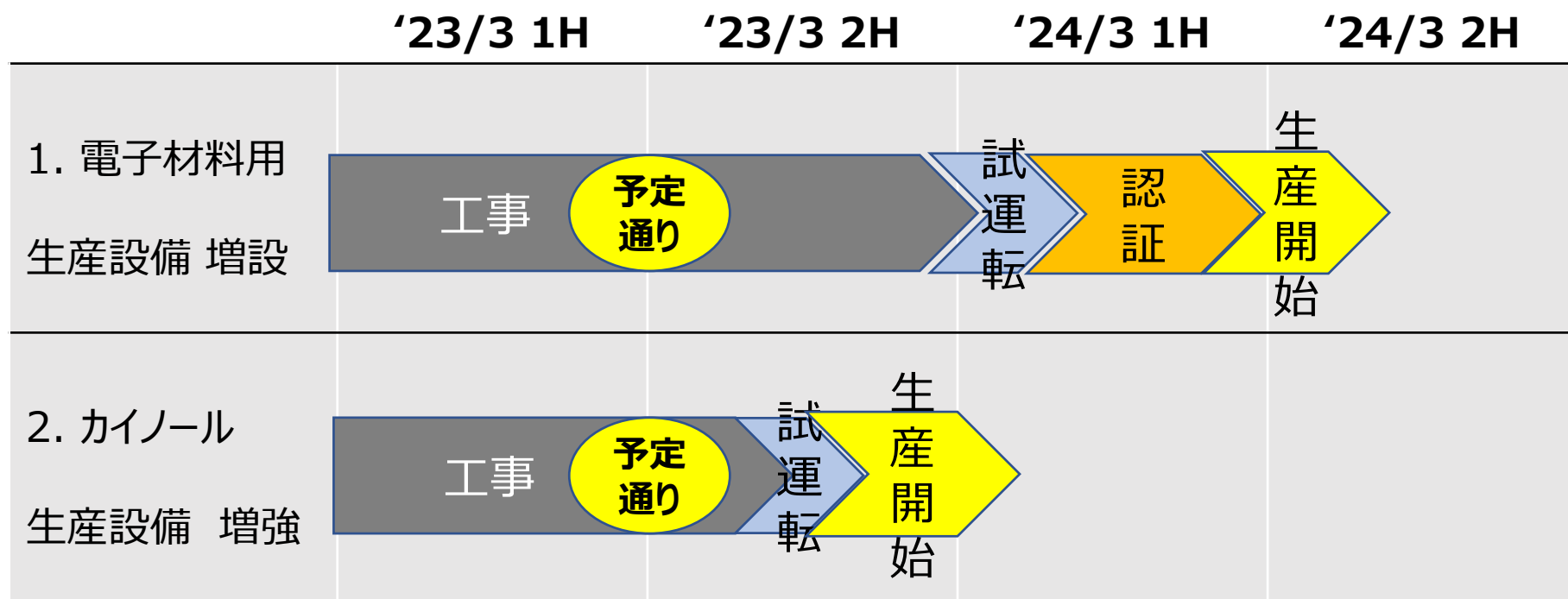
	2022年3月期 第2四半期末	2023年3月期 第2四半期末	増減
営業CF	735	323	▲412
投資CF	25	▲2,329	▲2,354
財務CF	▲381	▲381	0
換算差額	15	177	+162
増減額	395	▲2,209	—
現金及び現金同等物 四半期末残高	9,221	7,369	▲1,852

1. 電子材料用生産設備 増設

投資額：約10億円、能力向上：約30%

2. カイノール生産設備 増強

投資額：約1億円、能力向上：約30%



1. 会社概要
2. 2023年3月期第2四半期 業績・財務概要
3. 2023年3月期 業績予想
4. 「GCIグループ中期経営方針2024」 進捗

通期業績連結予想

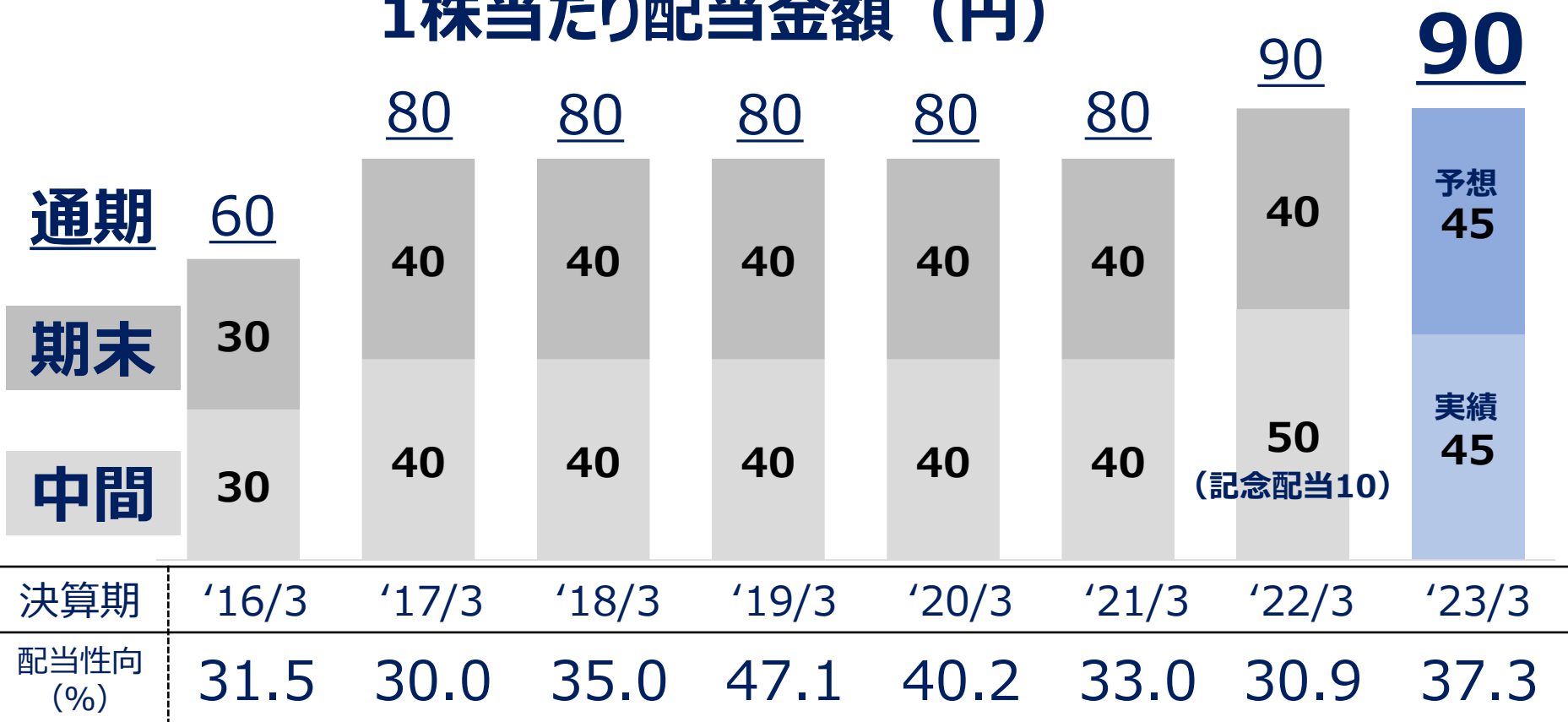
単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期 予想	増減	前期比
売上高	29,406	32,000	+2,594	+8.8%
化学品	24,462	26,505	+2,043	+8.4%
食品	4,697	5,250	+553	+11.8%
不動産	247	245	▲2	▲0.8%
営業利益	2,489	2,000	▲489	▲19.6%
化学品	2,326	1,960	▲366	▲15.7%
食品	▲0	▲100	▲100	—
不動産	163	140	▲23	▲14.1%
経常利益	2,815	2,200	▲615	▲21.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,929	1,600	▲329	▲17.1%
売上高営業利益率	8.5%	6.3%	▲2.2pt	—

1株当たりの配当の向上に努め、

配当性向 30% を目安に安定的な配当を目指してまいります。

1株当たり配当金額（円）



1. 会社概要
2. 2023年3月期第2四半期 業績・財務概要
3. 2023年3月期 業績予想
4. 「GCIグループ中期経営方針2024」 進捗

社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

長期ビジョン（ありたい姿）

合成・糖化技術の開発・再構築によりグローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献できる**“Green・Chemical・Industry(GCI)”**となる

基本方針

1. 新規事業創出のための基盤作り
2. サステナビリティを巡る課題への取り組み
3. 経営基盤の強化
4. 生産性向上、収益力強化

4つの目指す方向性

① 高純度・先端材料	② 環境対応ケミカル	③ 高機能糖ケミカル	④ 経営基盤強化
電材分野	Green分野		

数値目標

財務目標	2021 年度 (実績)	2024 年度 (目標)
売上高	294 億円	350 億円
営業利益	25 億円	40 億円
営業利益率	8.5 %	11 %

非財務目標	2030 年度 (目標)
CO ₂ 排出量 *	30 % 削減

*Scope 1・2, 2013年度比

設備投資計画

55億円 (内、電子材料関連戦略投資：15億円)

方向性		主な方策	主な取り組み効果
高純度・先端材料 (電子材料分野)		フォトレジスト用樹脂をはじめとする電子材料分野への重点投資による事業拡大	- 電子材料向け樹脂売上高3.3%成長 - 増産投資2023年稼働に向け進行中
		高純度・低メタル化技術の深耕による先端材料分野の開発強化	先端（周辺材料含む）向け新製品試作開始
Green 分野	環境対応ケミカル	カイノール(溶剤回収用途等)を中心とした環境対応製品の拡販	- 溶剤回収向けカイノール売上高22.1%成長 - 増産投資2023年稼働に向け進行中
	高機能糖ケミカル	植物性ミルクの素などの高付加価値製品の拡販	- 食品売上高14.8%成長 「オーツミルクの素」 出荷増加
		大学等外部機関とのアライアンス強化による糖ケミカル材料開発	水溶性レジスト材料展示会参加 (TOPICS①)
	経営基盤強化	サステナビリティを巡る課題への取り組み強化、従業員エンゲージメントの向上	- TCFDへの賛同と情報開示 (TOPICS②) - 実質CO2フリー電力の導入決定 (削減見込み量約4,000t-CO2e) - 健康経営優良法人2022 認定取得

NNT2022 出展



水溶性レジスト材料

～糖類を用いた

水溶性微細パターニング材料～

特徴

- 水でパターニング処理が可能
- 水処理のため、プラスチックなど様々な基盤へパターニングが可能
- 数ミクロンオーダーの加工処理が可能

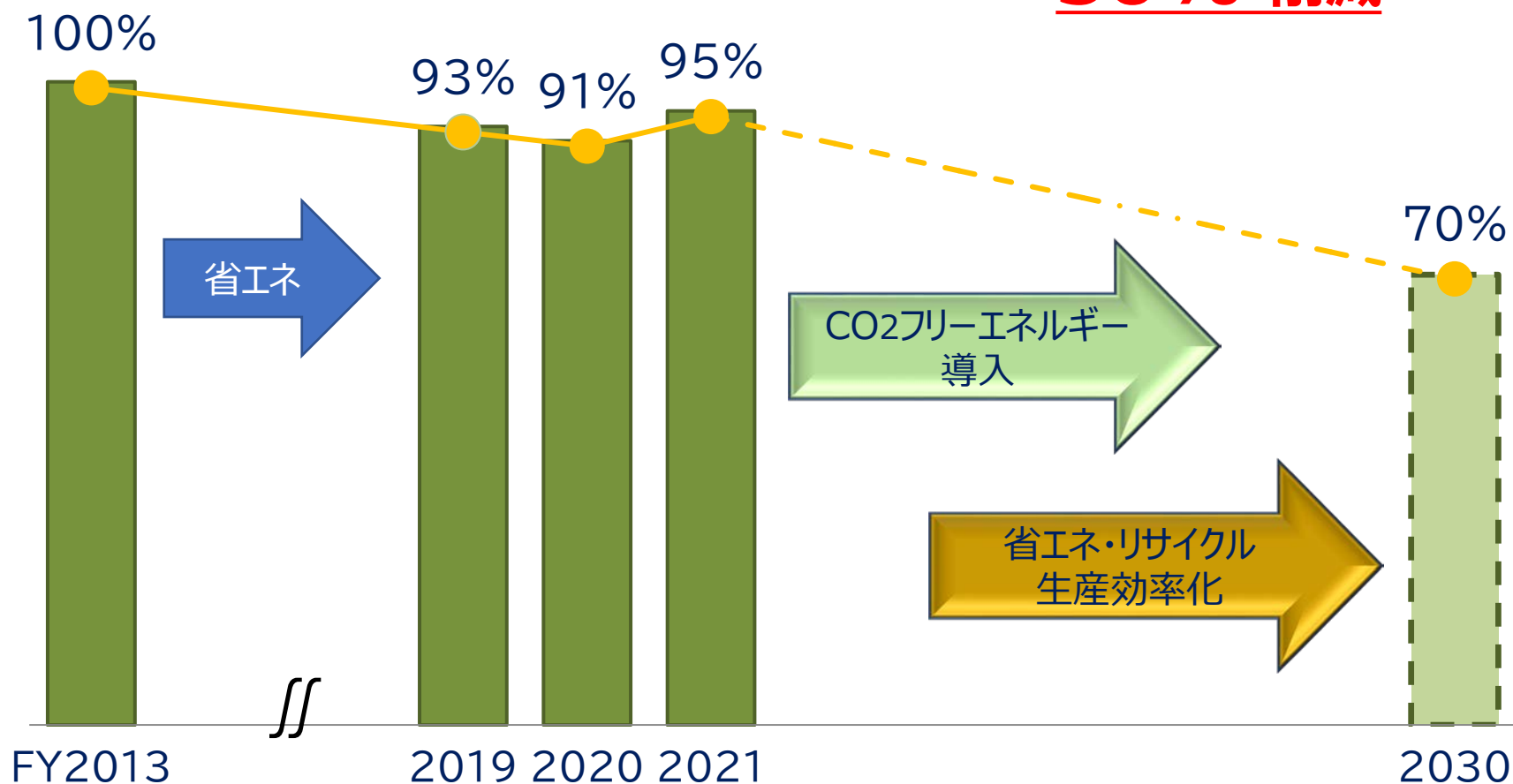
**有機溶媒を使用しない
環境調和型の新材料です**

**注目
材料**



2030年度GHG排出目標 (2013年比)

30% 削減



■ GHG排出量 (Scope 1 + Scope 2) (tCO₂e/年)

● 2013年度比 (%)

Appendix

群馬県高崎市

本社・技術開発センター
群馬工場
(化学品・食品製造)
高崎支店

滋賀工場
(化学品製造)

東北ユーロイド工業(株)
岩手県
化学品製造、受託製造

(株)ビッグトレーディング
群馬県
人材派遣

東京支店

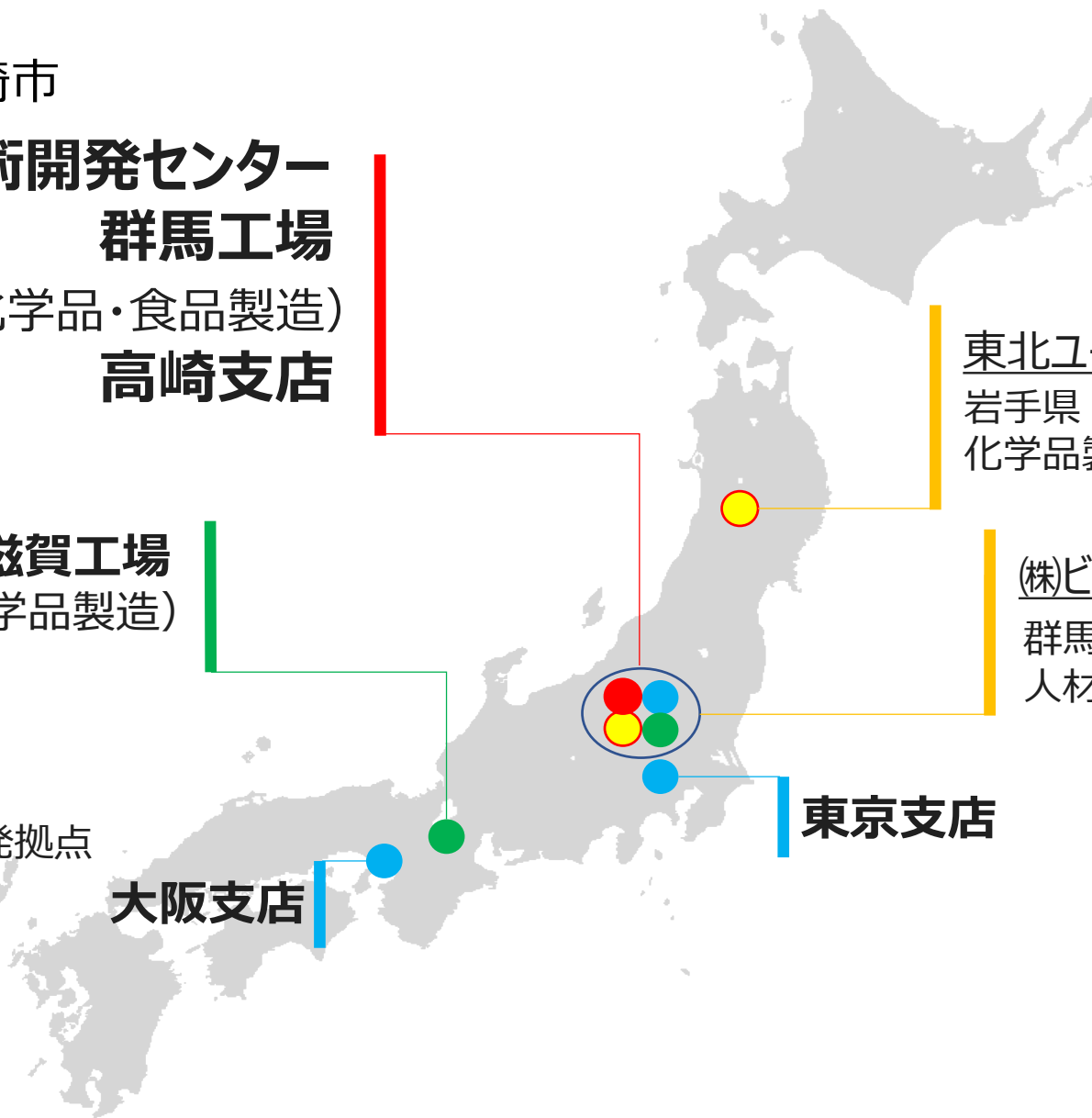
大阪支店

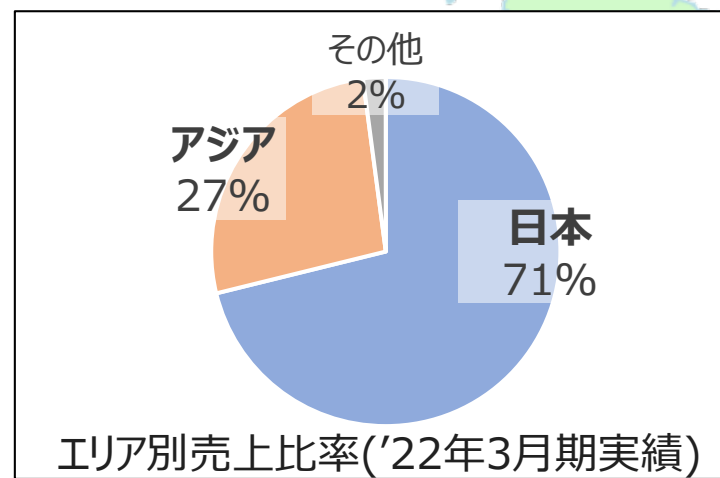
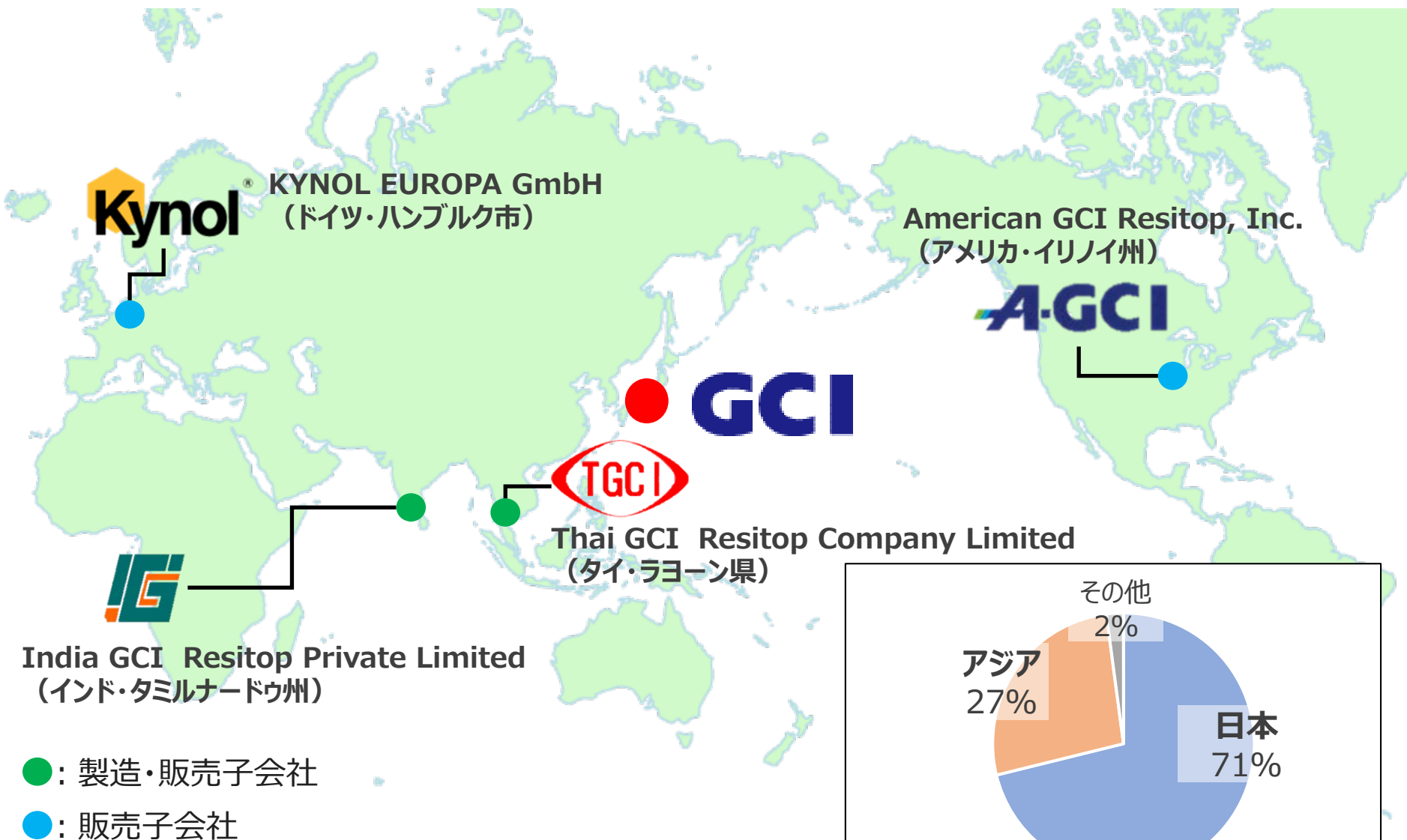
●: 本社・開発拠点

●: 製造拠点

●: 販売拠点

●: 子会社





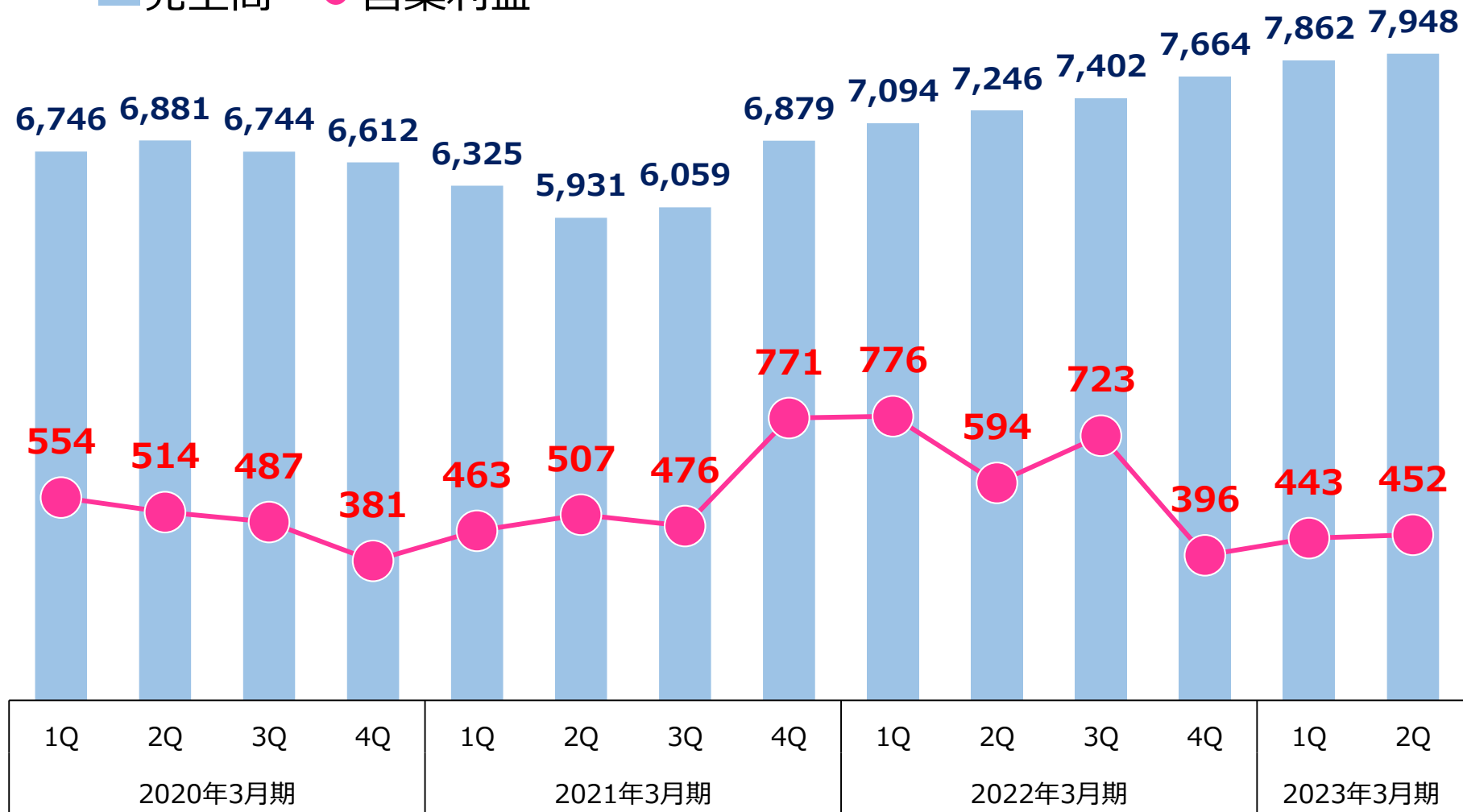
当社の製品の用途と特長について

用途			製品・技術・特徴など	主なユーザー
化学品セグメント	電子材料	電子材料	レジスト用ノボラック樹脂（トップシエア） 半導体周辺材料 高純度化技術 品質管理能力	レジストメーカー 半導体材料メーカー
	自動車 各種機械	工業材料	鋳物用バインダー「α system」「β system」「NFURAN」など 高機能摩擦材用樹脂「ミレックス」 工業用フェノール樹脂「レチトップ」 ユーザー毎個別のカスタマイズ	鋳造メーカー ブレーキメーカー
	住宅 成形材料 その他工業用途			断熱材メーカー 成形部品メーカー 塗料メーカー
	環境・溶剤回収 航空宇宙 難燃繊維	環境材料	高機能繊維「カイノール」 真球状樹脂 フェノール樹脂繊維の特徴的性質	溶剤回収装置メーカー 航空機部品メーカー 防護服メーカー
食品セグメント	清涼飲料 菓子類	食品	澱粉糖製品群（異性化糖 など） ピュアトース（マルトトリオース）	飲料メーカー 菓子メーカー
	ビール系飲料 穀物ミルク		麦芽エキス製造技術 穀物糖化技術	飲料メーカー
	化粧品原料		糖誘導品	化粧品原料メーカー

Q on Q業績推移

単位：百万円

■売上高 ●営業利益



主要な経営指標等の推移

【 連結 】

回次		第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(百万円)	26,393	27,636	26,983	25,194	29,406
経常利益	(百万円)	2,708	1,836	2,141	2,451	2,815
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,583	1,176	1,370	1,607	1,929
包括利益	(百万円)	2,116	351	1,410	2,602	1,826
純資産額	(百万円)	41,954	41,746	42,020	43,750	44,889
総資産額	(百万円)	52,205	51,048	50,626	51,984	54,680
1株当たり 純資産額	(円)	5,852.33	5,813.59	6,014.34	6,367.01	6,550.74
1株当たり 当期純利益金額	(円)	228.59	169.77	198.93	242.06	291.13
自己資本比率	(%)	77.7	78.9	79.8	81.2	79.4
自己資本利益率	(%)	4.0	2.9	3.4	3.9	4.5
株価収益率	(倍)	15.3	15.2	12.3	10.5	10.3

＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません。

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818（代表）